

3月水稻生産情報

令和 7 年 3 月号
J A つがる弘前
岩木地区営農係

まもなく育苗作業が始まります。今冬は積雪が多いことから、ハウスや苗代へ融雪資材を散布するなどして消雪を早め、作業が遅れないようにしましょう。また、苗半作という言葉があるとおり、育苗は稲づくりの重要な作業ですので、丈夫で強い苗を育成するため、下記のスケジュールを目安に計画的に作業を進めましょう。

1. 今後の作業スケジュール目安(田植え時期が5月20日の場合)

3月29日頃	塩水選	～ 充実した種籾の選別 ～ 下記の通り調整した食塩水に種籾を入れ、浮き上がったものは取り除きましょう。 - うるち米.....水 10 ℓ + 食塩 2.1 kg (比重 1.13) - もち米水 10 ℓ + 食塩 1.2 kg (比重 1.08) 塩水選後、種もみに付着した塩水は洗い流してください。			
	種子消毒	～ 健康な苗をつくるために～ <u>テクリードCフロアブルを使用する場合</u> テクリードC200 倍液に 24 時間浸漬します。 薬液 20 で種籾 20 kgを消毒できます。 100 ccで薬液 20 分となります。	<u>モミガードC水和剤を使用する場合</u> 乾燥籾重量の 0.5%の量を種もみにまぶします。 モミガードC 100 gで種籾 20 kgを消毒できます。		
3月31日～4月13日頃	浸漬	～ 十分な浸漬で発芽を揃えよう～ 浸漬期間は 10～14 日程度 浸漬は平均水温の積算で 100 以上を目安としましょう。 水の交換は、3 日に 1 回 水の交換は初めの 2 日間を行わず、その後は 3 日に 1 回の間隔で交換しましょう。その際は種籾の上下の入れ換えも行いましょう。			「はれわたり」は浸漬時の水温が低かったり、浸漬期間が短いと発芽にバラつきが出やすい品種です。 水温は 10 を下回らないよう、こまめにチェックしましょう。
	催芽	～ 目標はハト胸～ 催芽の温度は 30～32 で 16～20 時間程度行い、種籾がハト胸状態になったら終了しましょう。 【注意点】・ 40 以上になると発芽能力が低下します。・ 芽の伸ばしすぎは芽の欠けを助長します。 ・ ハト胸状態になったら冷水につけて種籾袋内部の熱をとり、根の伸びすぎを抑えましょう。			
4月15日頃	播種	～ 1 箱約 1 2 0 g ～ 催芽籾は 1 箱当たり 120 g を目安に播種しましょう。厚播きは、徒長苗やムレ苗の原因となります。			

2. 苗箱と本田の準備

4月10日頃

床土・置床の準備

～ 苗箱の目安は 3 5 枚/ 1 0 a ～

・ 人工培土は乾きやすいため水管理には注意
しましょう。

置床の準備(折衷苗代の場合)

・ 置床へサイコー11 号を 1 坪当たり 500 g
施肥しましょう。

・ 置床は育苗箱の底が密着するよう均平に
しましょう。

床土の準備

床土	資材名		箱当り 使用量	製品 1 袋(本) 当りの箱数	
山 土	サイコー11号		20 g	5 kg 当り 250 箱	
	灌注	とかすだけ	19.2 g	10 kg 当り 520 箱	
	どちらか	土壌混和	ナエファイン粉剤	8 g	1 k g 当り 125 箱
		播種時灌注	ナエファインフロアブル	2000 倍液 1 L	100m 当り 200 箱
人工培土	無肥料培土 ※肥料が入ってません。上記のようにサイ コー11号を施用しましょう。		床土2.7 k g 覆土0.8 k g	20 k g 当り 約 5.7 箱	
	軽量培土		床土1.0 k g 覆土0.75 k g	20 k g 当り 約 11 箱	
	苗の土*		床土2.1 k g 覆土1.2 k g	20 k g 当り 約 6 箱	
	どちらか	土壌混和	ナエファイン粉剤	6 g	1 k g 当り 166 箱
		播種時灌注	ナエファインフロアブル	2000 倍液 1 L	100m 当り 200 箱

4月中旬頃

本田の土壌改良

～ ケイ酸資材で倒伏軽減！～

品 名	1 袋当りの成分量(kg)	袋数(10a)
混合りん肥新3号	可溶性けい素26%、く溶性リン酸3%	5 ～ 10 袋

ケイ酸資材を施用することにより、病虫害や環境の変化に強い高品質のおいしいお米に仕上がります。

青天の霹靂を作付する場合は、土壌分析の結果に従いケイ酸質資材を施用してください。